

前田利常×小堀遠州 甦る日本一窓の多い茶室

よう すい てい 擁翠亭



遠州の“綺麗さび”と前田利常の“大名趣味”。その融和が創り出した
13の窓から差し込む光は、茶室内をあたかも舞台のように演出する。

茶室「^{ようすいてい}擁翠亭」は、寛永年間(1624～44)、加賀藩主前田利常が、家臣でもあった京の金工師後藤覚乗(勘兵衛)の屋敷に建てた茶室です。

設計したのは、江戸時代前期を代表する茶人、小堀遠州。依頼主と設計者の美学が結実したこの名茶室には、13ある窓の造作をはじめ、他の茶室にはない独自の意匠が随所に見られます。

擁翠亭は明治初年に解体され、部材は数寄屋大工師の許で保管されていました。そして平成15年にその部材が発見され、同27年、京都鷹峯の地に再建されるのです。

本作は、そんな擁翠亭の全容を撮影したブルーレイです。遠州の「綺麗さび」の世界を堪能できるのはもちろん、60点を超える資料を駆使した解説により、茶室の部位や構造、擁翠亭の歴史について学ぶことができます。

また、^{せきひらき}席披茶会における貴重な映像も収録。「膳所光悦」茶碗や前田家伝来の茶道具、そして遠州茶道宗家・小堀宗実家元と陶磁研究家・林屋晴三氏の問答は必見です。



〔出演〕

遠州茶道宗家十三世家元	小堀宗実
東京国立博物館名誉館員	林屋晴三
財京都伝統建築技術協会理事長	中村昌生
MIHO MUSEUM館長	熊倉功夫
茶道資料館副館長	筒井紘一

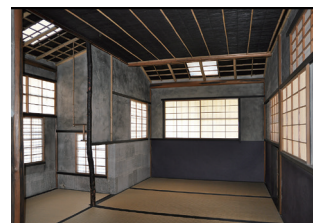
(出演者はいずれも茶の湯に関する著書多数)

ブルーレイ『前田利常 小堀遠州 甦る日本一窓の多い茶室 擁翠亭』

ISBN：978-4-8016-0100-0

著作：擁翠亭保存会

定価：本体18,00円+税 発売：宮帯出版社



注文書

書店(帳合)印

条件	委託	注文数	冊	担当	様
ブルーレイ名	前田利常×小堀遠州 甦る日本一窓の多い茶室 擁翠亭 ISBN978-4-8016-0100-0 C0870 ¥1800E				
定価(本体1,800円+税)	年 月 日				